

(様式2)

令和 4 年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1570400752		
法人名	株式会社はあとふるあたご		
事業所名	はあとふるあたごグループホーム三条		
所在地	新潟県三条市石上2-15-1		
自己評価作成日	令和5年2月8日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyosyoCd=1570400752-00&PrefCd=15&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和5年3月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

出来る限り家庭的な雰囲気を残しながら、毎日が穏やかに安心して過ごせるように配慮している。また、認知症発症前には自由にしていた、調理や外出、入浴なども、可能な限り支援している。グループホームの入居者にだけでなく、地域の認知症者やその家族等支援者に向け、認知症カフェを開催し地域に専門性を用いて貢献している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○地域に開かれた事業所の取り組み

事業所の周辺は美容室や喫茶店等が徒歩圏内にあり住宅地の一角に位置している。開設してから、21年目を迎えており、時代の移り変わりに対応した地域の多様な福祉ニーズに応えながら、短期利用や共用型デイといった利用者への柔軟で即応性のある支援を実践している。三条市の事業である認知症カフェ「おひさま喫茶」ではカフェ座談会を外部の公民館や文化会館を会場に開かれており人との関わりを大切に継続されている。一人ひとりのその人らしさを尊重した対応の仕方など、地域に情報提供していくことに積極的に取り組んでいる。

○一人ひとりの思いや暮らし方を尊重した支援

入居前から自宅を訪問し、社会や家庭での役割とサービス利用の経過等を把握し、これまでの暮らしが継続できるよう全職員で支援している。家族からもセンター方式の様式を活用し、できるだけ多くの情報を収集した上で、本人の思いや意向が叶うよう職員で声を掛け合い支援に活かしている。

○利用者の楽しみを増やす取り組み

コロナ禍で外出や面会が制限される中、馴染みのある場所へドライブしたり、食事が楽しみとなるように、毎日食べたい物、献立を一緒に考え、おかずも数種類の中から選んでもらうこともあり、家庭的な雰囲気の中で楽しんでもらっている。食事の準備や後片付けでも、出来る事は継続してもらい、利用者が役割を持つ事で張り合いや喜びのある日々を過ごせるように取り組んでいる。入浴も午前中から夕方まで入れるように、本人の希望や気持ちに寄り添いながら個々に添った支援に取り組んでいる。